

令和3年度茶在庫量等調査の状況について

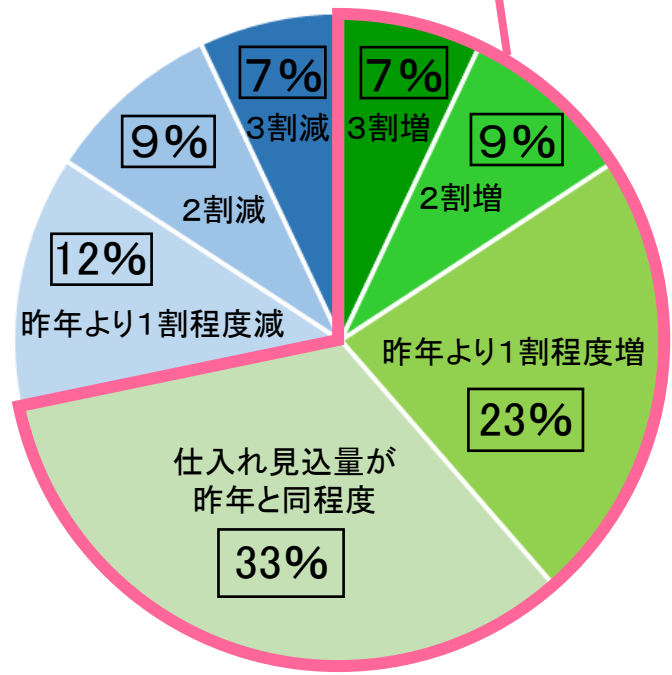
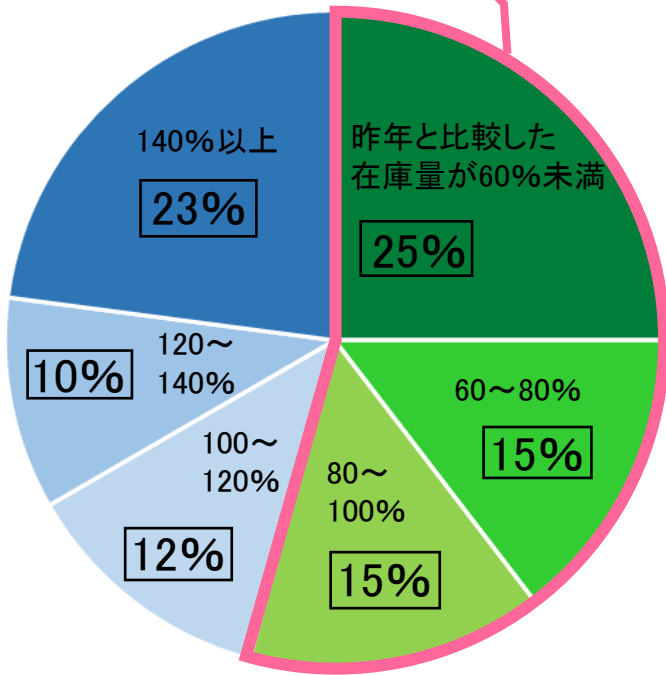
- 茶の卸・小売事業者に対し、令和3年12月末時点の一番茶在庫量及び令和4年産の一番茶の荒茶仕入れ見込みについて調査を実施。
- 回答のあった事業者のうち、在庫量は5割強が「昨年同期より在庫量が少ない」、今後の仕入れ見込量は約7割が「昨年以上か同程度仕入れる」と回答。

○ 令和3年12月末時点の一番茶の荒茶在庫量
(令和2年12月末時点との比較)

○ 令和4年産一番茶の荒茶仕入れ見込の回答割合 (令和3年産との比較)

5割強の回答者が「昨年同期より在庫量が少ない」と回答

約7割の回答者が「仕入れ見込量は昨年以上か同程度」と回答



○ (参考) 量ベースでの在庫量比較 (対前年比)

茶種	前年比
一番茶	▲ 1%
全茶期計	+ 7%

※全茶期計で在庫が多いのは、令和3年の二番茶以降の生産が令和2年と比較して大きく増加したことが関係していると考えられる。

資料：果樹・茶グループ調べ

R2年度補正「茶販売促進緊急対策事業」実施主体へのアンケート調査結果から、59件の回答を集計

※回答者の荒茶仕入れ量の合計は、R3年の荒茶生産量の約15%